

暮らしに役立つ情報満載!

FP FPの家

住まいの ニュース

2025 10 vol.179

今月の特集

家事効率を極めた 住まいの作り方

毎日の家事をもっと楽に、効率的にしたいと願うのはすべての家族の共通の思いです。忙しい朝の時間や週末のまとめ家事も、住まいの設計次第で劇的に変わります。そこで今回は、理想の家事動線を実現するポイントをご紹介します。

動線を意識した間取りで 家事時間を短縮

家事効率を向上させる最も重要なポイントは、生活動線の設計にあります。

キッチン、洗面所、浴室などの水回りを集約配置することで料理をしながら洗濯機を回し、その間に掃除を済ませるといった「ながら家事」が可能になります。特に朝の忙しい時間帯では、この動線の違いが10分、20分という貴重な時間の節約に直結します。

また、玄関から直接パントリーやキッチンへアクセスできる間取りにすることで、重い買い物袋を運ぶ距離を最小限に抑えられます。さらに、リビングからキッチンが見渡せるオープンな設計なら、家族とのコミュニケーションを取りながら料理ができ、孤独感のない家事時間を過ごせます。

収納計画も重要で、使う場所の近くに適切な収納を配置することで、出し入れの手間を大幅に削減できます。湿度管理が優れた住宅では、クローゼットや押入れでの衣類管理も楽になり、カビや臭いの心配も軽減されます。

完全フルオーダーだから 実現できる理想の家事空間

忙しい平日の朝でも、効率的な動線があれば家族全員がスムーズに準備を進められます。洗面所が混雑しないよう複数の洗面台を設けたり、朝食の準備と弁当作りを同時に行えるキッチンレイアウトを考案したりと、暮らしに応じた工夫が求められます。

また、週末の家事をまとめて行う家庭では、洗濯や乾燥、アイロンがけまでを一連の流れで行えるランドリールームが効果的です。特に梅雨時期や冬場の室内干しでも、一年中快適な室内環境が保たれていれば、洗濯物の乾きも早く家事ストレスが軽減されます。このような理想の家事空間を実現できるのがFPの家の強みです。

完全フルオーダーの注文住宅とし

て、お客様一人ひとりの家事パターンや生活習慣を詳細にヒアリングし、それに最適化された間取りをご提案します。

さらに、地域の気候や土地の特性を熟知した信頼のおける地元工務店が施工するため、その土地特有の課題にも的確に対応できます。例えば、湿気の多い地域では除湿効果を重視した設計を、風の強い地域では洗濯物の室内干しスペースを充実させるなど、地域性に応じた家事空間を実現します。共働き世帯なら短時間で効率的に家事をこなせる動線を、専業主婦の方なら丁寧な家事を楽しめる充実した設備配置を実現できます。

また、洗濯物を干すバルコニーの位置からパントリーの棚の高さまで、使う人の身長や利き手に合わせて設計することで、毎日の家事がストレスフリーになります。

